



表紙写真：大字上延生 小林宗男さん撮影〈陽春の姥ヶ池〉

# No. 141

2012年5月14日発行

議会だより

# はが

## 3月議会定例会

3月定例会概要(予算、条例制定・改正ほか) ……………	2～5
平成23年度補正予算 ……………	6
丸森町議会行政視察・農業委員との意見交換会 ……………	7
常任委員会予算審査結果 ……………	8
一般質問 ……………	9～13
議会改革検討委員会・表彰 ……………	14
聲<こえ>私のいいたいこと ……………	15
議会日誌・表紙写真募集・編集室 ……………	16



## 3月議会定例会

<引き続き予算化された 農地・水保全管理支払交付金事業>

# — 予算総額106億2,710万円を可決 —

平成24年3月議会定例会は、3月2日から3月13日までの12日間開催しました。

定例会には、平成24年度一般会計、各特別会計予算をはじめ、平成23年度補正予算、条例制定・改正などや、議員発議による議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正などが提出されました。各常任委員会付託も含めて慎重な審議がなされました。

定例会は慎重審議の結果、全件原案どおり可決されました。

～みんなで創る やすらぎと豊かさに満ちたまち 芳賀～

重点施策 ○学校教育の充実

○子育て支援の充実

○計画的なまちづくりの推進

○防災・消防機能の向上

## 平成24年度 各会計予算

(単位：千円) ▲は減

会計別		区分	平成24年度 当初予算額	平成23年度 当初予算額	増 減	増減比
一		般 会 計	6,655,000	7,070,000	▲415,000	▲5.9%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		1,897,000	1,887,000	10,000	0.5%
	農 業 集 落 排 水 事 業		230,000	177,000	53,000	29.9%
	工 業 団 地 排 水 処 理 セ ン タ ー		91,000	60,000	31,000	51.7%
	介 護 保 険	保 険 事 業 勘 定	1,200,000	1,114,000	86,000	7.7%
		サ ー ビ ス 事 業 勘 定	9,700	6,000	3,700	61.7%
	公 共 下 水 道 事 業		253,000	208,000	45,000	21.6%
	祖 母 井 南 部 土 地 区 画 整 理 事 業		149,000	239,000	▲90,000	▲37.7%
	宅 地 造 成 事 業		9,400	15,000	▲5,600	▲37.3%
後 期 高 齢 者 医 療		133,000	118,000	15,000	12.7%	
合 計			10,627,100	10,894,000	▲266,900	▲2.4%

# 平成24年度一般会計

○予算に対する主な質疑

**質疑** 小林俊夫議員 農林水産施設災害復旧費の内容は。

**農政課長** 東日本大震災で芳賀台地土地改良区の施設が被害を受けたものの復旧工事費で、芳賀町の負担分です。

**質疑** 小林俊夫議員 中学生立志事業及び中学生海外派遣事業は、今後どのような方向で実施するのか。

**教育長** 立志の船は子どもたちや校長からも好評であるので予算の続く限り続けたい。海外派遣も外国人と交流し、寝食を共にし、見聞を広める貴重な体験であるので、ぜひ続けていきたい考えです。

**質疑** 小林隆志議員 G i s e n c e 通信料は、モニタリングシステムの何か。

**総務課長** 各小学校、中学校、芳賀工業団地管理センター敷地内の町内5カ所に平成23年度に約500万円掛けて設置しましたG i s e n c e 通信料です。

**質疑** 小林隆志議員 町内5カ所以外に保育園や幼稚園もあるがモニタリング設置の考えは。

**町長** 今度道の駅はがに設置し6カ所になり、町のバランスを取り設置しているので、十分であると考えます。

**質疑** 小林隆志議員 地域防災計画策定業務について、県の防災計画が策定されてから町で策定することのだが、茨城の東海村第二原発から50km位なのでその対策・項目を設けて町独自の視点を持つことも大事であると思うが、町の考えは。

**町長** 放射能については非常に関心を持っており、対策を考えたいです。町独自でできるものについては行いたいですが、専門家の意見も取り入れ、一緒に並行してやっていきます。

**質疑** 小林一男議員 スポーツ教室運営費でスキー教室が開催されるが、前回のスキー教室で通常使用しない60人乗りバスを用意したのはなぜか。

**生涯学習課長** 募集定員が40名指導者が10名、そこに事務局が加わり50名を超えるので、補助席を使わぬよう60人乗りを使用しました。

**質疑** 市川宗司議員 農地・水保全管理支払交付金事業負担金（共同活動）の2,257万円は、町単独の補助金か。

**農政課長** 農地・水は国が50%県が25%、町が25%負担しています。県の土地改良連合会が事務局で、そちらに支払う町負担分です。

**質疑** 市川宗司議員 農地・水保全管理支払交付金事業に高額の支払をしている以上、町の行政指導、管理体制がしっかり行われているのか。

**農政課長** 町では年に2回、関係組織代表の方に、事業の取り組み方や進捗状況等の説明及び指導を行っています。また、補助事業であるので、県の指導監査が入ります。

**質疑** 増淵さつき議員 生活習慣病予防費の電算処理委託料が前年度より大幅に増額になっています。これは、健康情報システム改修とのことですが、どういった内容のものか。

**健康福祉課長** これは、一つは経年未受診者の抽出、二つ目は人間ドックの受付後の許可書作成、三つ目が県の母子保健の報告の三種類のシステム改修費用です。

**質疑** 増淵さつき議員 総合情報館運営費の委託料が増えている理由は何か。

**生涯学習課長** I C タグ貼付や図書マーク業務委託の他に、5年経過による図書システム更新の委託料があるためです。



更新される図書システム

**質疑** 大根田和子議員 道の駅はが物産館改装工事設計監理業務費が計上されているが、どのような考えで建てるに至ったのか。

**町長** 道の駅はがは、売上が少なくなってきたっており、活性化させるためには物産館が必要であるとの株主総会の決定を得たので建築するものです。特に芳賀バイパスが開通すると、このままでは、道の駅はがは通過点になってしまつので、魅力あるものにしたいたい考えからです。

**質疑** 水沼孝夫議員 職員研修費が昨年より大幅に削減されている理由は何か。

**総務課長** 昨年は三行提報システムを導入しましたが、今後は保守管理だけでなく、またメンタルヘルスコーチング研修も終了したので減になっています。パソコン研修等必要な研修は、引き続き実施していきます。

**質疑** 北條 勲議員 わがまち協働推進事業補助金で延生地蔵尊分踊り活性化事業とあるが具体的な内容は。

**企画課長** 県の補助事業であり地域の特産品、観光名所、伝統的な祭りなどを活かして、自ら地域づくりを進めていくという

ことで、本町には平成24年度から取り入れます。現在、地元で県に提出する計画書等を検討中で詳細については、まだ確定していません。他の自治会の活動事業も現在検討いただいています。

**質疑** 杉田貞一郎議員 郷土愛教育推進事業費3千円と少額だがどういふことか。

**こども育成課長** 昨年に社会科副読本の作成が完了したので、新しく赴任した教職員の研修費のみです。

**質疑** 杉田貞一郎議員 将来の芳賀町を担う子どもたちに町を知り愛してもらい、住んでもらうことが重要と思うが、今後郷土愛について、どのように考え進めていくのか。

**教育長** 各自治会へ子どもたちを巻き込んで活動に参加させてほしいと依頼しています。各地区で大事に育てられた伝統文化も、後継者問題等も取り上げ、教育フォーラムの中で検討していきたいです。郷土愛を育む教育は、重要であり大事にしていきたいです。

**質疑** 小林信二議員 新車購入費補助金が、なぜ昨年の商工業活性化支援事業費から工業振興

費に移ったのか。

**商工観光課長** エコカー補助金の従来実施は、商品券交付であったが、ホンダ車に対する補助内容については現金支給に変更させていただき、工業振興という目的のため工業振興費になりました。

**質疑** 見目 匡議員 私立保育園費2億941万4千円とあるが、民営化された保育園の行政指導というものを今後どのように行っていくのか。

**こども育成課長** 公立保育園も民営化した保育園も共に保育事業については公共事業であり、民営化した私立保育園に対しても国の基準である保育指針に基づく保育内容を実施していただく観点で、県及び町の指導は、今までどおりです。

## 〈特別会計〉

□国民健康保険特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

□農業集落排水事業特別会計

**質疑** 小林一男議員

(討論なし・原案可決)

□芳賀工業団地排水処理センター特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

□介護保険特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

□公共下水道事業特別会計

**質疑** 小林俊夫議員

(討論なし・原案可決)

□祖母井南部土地区画整理事業特別会計

**特別会計**

**質疑** 石川 保議員

(討論なし・原案可決)

□宅地造成事業特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

□後期高齢者医療特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

## 〈条例制定〉

□芳賀町東日本大震災復興推進基金条例の制定について

**内容** 東日本大震災からの復興に資するため、国から交付された特別交付税の当町配分予定額8,609万円が、平成23年度中に県から一括交付されることから、交付金受け入れのため、本基金を設置するものです。

**質疑** 見目 匡議員

(討論なし・原案可決)

□芳賀町スポーツ推進審議会条例の制定について

**内容** スポーツ振興法が50年ぶりに全部改正され、スポーツ基本法が制定されました。芳賀町スポーツ振興審議会条例を廃止し、芳賀町スポーツ推進審議会条例を新たに制定するものです。

**質疑** 増刈さつき議員

(討論なし・原案可決)

□特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

□芳賀町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について

□東日本大震災に対処するための芳賀町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の特例に関する条例の一部改正について

□芳賀町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について

□芳賀町介護保険条例の一部改正について

□芳賀町土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部改正について

□芳賀町総合情報館設置及び管理に関する条例の一部改正について

(質疑、討論なし・原案可決)

□芳賀町職員の給与の特例に関する条例の一部改正について

**内容** 町の財政状況、ラスパイルス指数を考慮し、平成24年4月1日から平成25年3月31日まで、10分の1を減額して給料を支給するために必要な条例の改正です。

## 〈条例改正〉

□芳賀町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

□芳賀町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について

□特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について



民営化されたみずはし保育園(上)  
南高根沢ひばり保育園(下)

〔質疑〕 小林一男議員

(討論なし・原案可決)

〔芳賀町税条例の一部改正について〕

〔内容〕 平成25年4月1日から県

たばこ税の一部が町たばこ税に  
委譲され増額となること、東日  
本大震災に係る修理費等の雑損  
控除の適用期間について災害の  
あった日から1年以内を3年以  
内に延長すること、平成26年度  
から平成35年度までの間、個人  
町民税の均等割額を3,000  
円から3,500円に引き上げ  
ることなどが主な改正です。

〔質疑〕 増淵さつき議員

市川宗司議員

(討論なし・原案可決)

〔芳賀町こども医療費助成に関  
する条例の一部改正について〕

〔内容〕 平成22年度から県の制度  
改正により、町単独で補助して  
いる入院時食事療養費を平成24  
年度から補助対象外とする改正  
です。

〔質疑〕 市川宗司議員

〔反対討論〕 市川宗司議員 入院

時食事療養費は、入院時におけ  
る病気治療の一部と病院は考え  
ていると思います。町の施策の  
子育て支援の充実という観点に  
逆行したもので、反対します。

(起立多数・原案可決)

〔芳賀町ひとり親家庭医療費の  
助成に関する条例の一部改正  
について〕

〔質疑〕 小林信二議員

(討論なし・原案可決)

〔芳賀町生ごみの収集、運搬及  
び処理に関する条例の一部改  
正について〕

〔内容〕 生ごみ回収対象地域内の  
事業者以外の個人を対象に「指  
定袋」回収から「ふた付きバケ  
ツ」回収無料化に改める改正で  
す。

〔質疑〕 増淵さつき議員

(討論なし・原案可決)

〔芳賀町営住宅の設置及び管理  
に関する条例の一部改正につ  
いて〕

〔内容〕 公営住宅法及び施行令の  
一部が改正され、入居資格要件  
が緩和されたが、本町では公営  
住宅戸数は1棟9戸のみであり、  
引き続き現行の入居要件を維持  
するための改正です。

〔質疑〕 増淵さつき議員

(討論なし・原案可決)

〔芳賀町生涯学習センター設置  
及び管理に関する条例の一部  
改正について〕

〔内容〕 生涯学習センター運営審  
議会の任命基準に「学校教育及

び社会教育の関係者、家庭教育  
の向上に資する活動を行う者並  
びに学識経験のある者の中か  
ら」を加える改正です。

〔質疑〕 増淵さつき議員

(討論なし・原案可決)

## 〈財産の処分〉

〔財産の処分について〕

〔財産の処分について (追加議  
案)〕

(質疑、討論なし・原案可決)

## 〈町道廃止・認定〉

〔芳賀町道路線の廃止について〕

〔芳賀町道路線の認定について〕

(質疑、討論なし・原案可決)

## 〈議員発議〉

〔議会の議員の議員報酬及び費  
用弁償等に関する条例の一部  
改正について〕

〔内容〕 議員自らの発議案件で、  
町内震災被災者への義援金配分  
増額などに資するため、平成25  
年3月まで議員月額報酬の5%  
減額を、引き続き行う改正です。

(質疑、討論なし・原案可決)

## 議会運営委員会 広報常任委員会



### 神奈川県開成町を合同行政視察

より良い開かれた議会運営と議会広報誌づくりを  
目指し、平成24年1月30日・31日に先進地である神奈  
川県開成町議会を行政視察し、研修してきました。

当日は、議会基本条例の制定やこれに伴う活動、通  
年議会の実施、議会報告会、議会改革と広報活動等  
について、開成町議会事務局からの説明と質疑応答を  
行いました。

開成町での行政視察は、今後の議会活動や議会広  
報誌づくりに大変参考になりました。



神奈川県開成町役場での視察

# 〈補正予算〉

□平成23年度一般会計

―質疑応答―

**【質疑】** 石川 保議員 生活バス路線維持費補助金は、当初予算で計上しなかったのか。

**企画課長** 当初予算で計上していたが、JRバス2路線について震災の影響もあり、最終的に経常赤字が増えた分の補正です。

**【質疑】** 水沼孝夫議員 町税収入が落ち込む一方だが、その要因は。

**税務課長** 法人町民税については、東日本大震災や円高など経済状況の影響を受け、当初見込みより企業の納税額が下回りましました。固定資産税についても、東日本大震災による家屋等の減免が大きな要因です。

**【質疑】** 見目 匡議員 道の駅はがりニューラル検討業務が繰越明許費になった理由は。

**商工観光課長** アンケート調査、意向調査等を実施し、地元関係者と細密な打ち合わせをし、成果として高め、より深く突き詰めたいので、一定期間を要するため工期を24年度まで延長しました。

**【質疑】** 大根田和子議員 特殊地下壕安全対策工費が343万円減額であるが、内容は。

**総務課長** 特殊地下壕は下高根沢地内のもので、国庫補助事業ですが、当初の見込みより空洞部分が少なかったためです。

**【質疑】** 杉田貞一郎議員 祖母井保育園の賄材料費15万8千円の減額は、需用費としては大きな金額であるが、なぜか。

**【質疑】** 手作りのおやつをできるだけ食べさせるために祖母井保育園は調理員を1名増員したので、人件費が掛かった分、賄材料費の方が少なく済んだものです。

(討論なし・原案可決)

□平成23年度一般会計(追加議案)

**【質疑】** 小林一男議員 当初の財産処分と今回の追加議案の財産処分を合算して今回追加補正に算入した理由は。

**企画課長** 当初で議決いただいた財産処分の中には、土地開発基金による先行取得分が含まれています。土地開発基金は出納整理期間がなく、年度内収入が確実に上がったことから、今回の収入と併せて補正予算を

計上しました。

(討論なし・原案可決)

□国民健康保険特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

□農業集落排水事業特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

□芳賀工業団地排水処理センター特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

□介護保険特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

□祖母井南部土地区画整理事業特別会計(追加議案)

(質疑、討論なし・原案可決)



## 平成23年度 補正予算

3月定例会可決(単位:千円) ▲は減額

会計別	区分	補正額	補正後の予算額	補正歳出の主なもの
一般会計		484,546	8,776,647	祖母井南部区画整理地内保留地購入費154,440 基金積立金573,155 災害廃棄物処理業務委託料▲88,734 工業振興費60,600
特別会計	国民健康保険	20,772	1,939,312	保険給付費27,605 共同事業拠出金▲7,276
	農業集落排水事業	▲1,504	214,892	施設管理費▲2,414
	工業団地排水処理センター	▲9,332	97,423	工事請負費▲8,000
	介護保険	26,050	1,178,288	居宅介護サービス等給付費10,000 施設介護サービス給付費▲30,000 介護給付費準備積立金46,122
	祖母井南部土地区画整理事業	▲23,900	255,000	区画整理事業費▲23,900
	宅地造成事業	▲9,960	19,000	一般会計繰出金▲9,960
	後期高齢者医療	▲2,655	115,345	後期高齢者医療広域連合納付金▲3,534

# 行政視察

## —宮城県伊具郡丸森町議会が来庁—



視察中の丸森町議会議員の皆さん(第1委員会室)

宮城県丸森町の議会議員5名の皆さんが、2月21日に行政視察に訪れました。

丸森町は、人口約15,490人で、町内に館矢間山田工業団地を有しており、また学校教育にも力を入れていることから、「企業誘致の取り組み」と「学校教育の充実の取り組み」について、町担当者から説明を行いました。

多くの質疑応答の後、活発な意見交換を行い、理解を深めて帰町されました。



## 町議員会

## 農業委員との 意見交換会を開催

芳賀町議員会では、町政全般について調査研究活動を自ら行っていますが、2月21日には道の駅はが会議室で町農業委員との意見交換会を開催しました。

芳賀町の半分は農地であり、時代が変わろうと取り巻く環境が厳しくとも農地を守っていこうという熱い思いで、活発な意見交換が行われました。

主な内容は

- ・耕作放棄地解消の取組について
- ・後継者対策について
- ・その他



道の駅はが会議室にて

# 常任委員会予算審査

平成24年度一般会計及び特別会計予算は各常任委員会に付託され、3月7日、8日、12日の3日間、町執行部の出席を求め、書類審査と現地調査を行いました。慎重審査の結果、いずれの予算も原案どおり可決されました。

各常任委員会での審査の意見などは次のとおりです。

## 総務常任委員会



かしの森公園調査

- 対象の課、局  
総務課・企画課・税務課・環境対策課・会計課・監査委員事務局
- 書類審査 3月7日、8日
- 現地調査 3月12日  
かしの森公園、総合運動公園、旧芳賀高等学校跡地、デマンド交通オペレーターセンター
- 審査意見  
今年度の重点施策のひとつに「防災・消防機能の向上」がある。町民の生命及び財産を災害から保護するため、地域防災計画を見直し、地震ハザードマップ・洪水ハザードマップ・防災マニュアルを作成予定である。作成に当たっては、業者任せの画一的なものではなく東日本大震災で得た教訓や検証を踏まえ、芳賀町の地勢に即した防災計画となるよう取り組まれない。

## 教育民生常任委員会



与能テニスコート調査

- 対象の課  
健康福祉課・住民課・こども育成課・生涯学習課
- 書類審査 3月7日、8日
- 現地調査 3月12日  
与能テニスコート、地域密着型特別養護老人ホーム、芳賀東小学校
- 審査意見  
町はB&G海洋センター等指定管理者制度の在り方を深く検証し、今後進む指定管理者の移管に際しては、管理運営費も含め費用対効果を検討されたい。

## 産業建設常任委員会



公共下水道事業調査(芳賀バイパス)

- 対象の課  
農政課・商工観光課・建設課・都市計画課
- 書類審査 3月7日、8日
- 現地調査 3月12日  
町道与能八ツ木線、芳賀バイパス、芳賀工業団地管理センター、免の内堰、打越新田、道の駅はが
- 審査意見  
財政が厳しさを増す中で、「道の駅はが」の物産館が計画されている。設計にあたっては、関係者とよく協議し、数値目標の妥当性を検証の上進めるべきである。また、ホンダ車購入補助金を実施されるが、公益性をより高めるため商品券による助成も考慮されたい。



# 芳賀町地域防災計画の見直しについて

町 大震災での問題点等の意見を聞き、地域防災計画を作成

市川 宗司 議員



**問** 町防災会議の開催予定について、平成24年度の開催予定はあるか伺います。

防災会議は  
6月以降開催予定

**答** 町長 今回の震災対応では、地域との連携や避難所の運営、救援物資等の受け入れ等において改善を要する点が見られました。現在それらの問題点の洗い出しと、これらを基に修正案を作成した上で、町防災会議委員26名をもって会議を開き、大震災での問題点等の意見をお聞きしながら、地域防災計画を作成したいと考えております。会議開催予定については、6月以降を予定しています。

**問** 町長 発令基準は地域防災計画の中に記載されていますが、言葉による表現のみで基準が曖昧なものとなっており、発令基準については、可能な限り具体的客観的なものにするよう、数値データや警告、浸水等の状況を基に、明確にしていきます。

本人の同意を得て  
情報収集

**問** 町長 要援護者支援策について全体の構想を、また一人ひとりの個別プランの策定の原案等について伺います。

**問** 町では災害時避難勧告発令基準の策定がされていないが、基準の策定についての考えを伺います。

可能な限り  
具体的、客観的なものに

**答** 町長 災害要援護者対応マニュアルの全体計画については、町地域防災計画の中で、災害時要援護者支援策を具体化し、高齢者、障害者に対する支援体制の整備を図るため、平成22年3月に策定しました。要援護者個別計画は、現在災害時要援護者名簿はありますが、個人ごとの詳細データはないので、本人の同意を得て情報収集することになります。作成に当たっては、自己申告と、民生委員や

地域包括センター職員及び社会福祉協議会と協力連携し、平成24年度から災害時要援護希望者登録申請書を提出していただく予定です。

**問** 町長 大震災を踏まえ、災害時相互応援協定の検証と見直しについて伺います。

応援協定締結に向けて検討

**答** 町長 今回の大震災で不足した飲料水、食糧等を県内市町、百貨店等と供給や提供の締結をしています。県外の地方公共団体と協定を締結しているのは、埼玉県川島町だけであるので、広域災害に於いては、互いの情報提供や連絡手段の確保について検討していきます。更に、原発事故を想定し、250km以上離れた市町村との応援協定締結に向けて、今後検討していきます。

災害直後にすぐに  
対応できる訓練を



防災訓練(東水沼)

**問** 町長 平成24年度に予定している総合防災訓練は、災害直後にすぐに対応できる訓練を、町職員、消防団、消防芳賀分署、警察等の関係機関が主体となり、通信、情報収集、救出・消火、物資配布訓練などを実施予定です。自主防災組織には、訓練シナリオを策定し、地域別の訓練も同時に実施してもらう予定です。実施時期については、東日本大震災があった3月11日前後を考え、日程の調整はこれからしていきます。



杉田貞一郎 議員

# 高齢者が元気で活力ある生活を送るには

## 町 高齢者の居場所づくりが必要

**問** 高齢者が元気で健康的な生活を送れることが幸せの一つだと思います。生きがいサロンの今後のあり方、方向性について、どのように考えるのか伺います。

スタッフのスキルアップが必要

**答** 町長 医療費等の削減は、介護予防をすること、高齢者の居場所づくりをすることが必要で、平成13年度に芳賀町で最初の生きがいサロンを開設しました。週1回閉じこもり予防生活機能低下防止、仲間づくりや健康相談等、介護予防を目的に実施しています。継続や効果向上には、スタッフのスキルアップが必要であり、運動機能向上や認知症予防の知識の研修に努めていきます。

**答** 町長 高齢者の実態を把握し、総合的な相談、虐待防止、権利擁護事業に取り組みながら、生きがいづくりと、学び合い支え合う場として、生きがいサロンを運営しています。

高齢福祉サービスとして、緊急通報装置の設置や社会福祉協議会との連携による見守りを兼ねた配食サービスを実施したり、働く意欲のある人に就労を援助するシルバー人材センター運営補助をしています。

**問** 高齢世帯や独居老人にどのような対応しながら、安心安全な町づくりを進めていくのか伺います。

地域での共助、見守りが図れるよう努める

**問** 地域防災計画の見直しが進められています。実践に即した防災訓練の必要性を訴えているが、具体的にどのように考え進めていくのか伺います。

防災訓練について

地域支え合い体制づくりの一环として、「芳賀町見守りネットワーク事業」や稲毛田自治会で実施している「稲毛田みまわり隊」のような組織が必要であることから、今後とも、地域での共助、見守りが図れるように努め、高齢者の皆様がいつまでも健やかに安心して住み続けられることを目指します。

住民の参加も積極的に得て実施したい

**答** 町長 実施目的をはっきりさせ、形式的にならぬよう住民の参加も積極的に得て実施したい。また、自治会連合会や消防、警察等の関係機関と協議しながら、検討して実施したい考えです。

祖母井中部・北部のまちづくりの手法について

**問** まちづくりの観点から沿線型区画整理の手法も考えられるが、町としての考えを伺います。

沿道整備街路事業の導入で良好な住環境整備を

**答** 町長 中部地区は、祖母井中央通りの計画概要が示され、県に協力しつつ、沿道整備街路事業の導入を図り、良好な住環境整備を促進します。

**問** 関係住民に対して、説明情報不足と思われるが、町としての考えを伺います。

内容について 随時関係者皆様にお知らせ

**答** 町長 県道整備と併せて市基盤整備に向け協議し、個別路線、エリアごと路線について、整備方針を決定します。内容については、随時関係者皆様にお知らせしていきます。

**問** 中部地区の整備計画は、時期的にどのくらいかかるかと考えていますか。

概ね10年を計画しています

**答** 都市計画課長 第1期計画として、芳賀東小から町体育館までを、路線測量を含め平成23年度から27年度、第2期計画で、町体育館から祖母井神社までを平成28年度から32年度と予定し、概ね10年程度と計画しています。



# 防災に対する町の計画について



## 町 緊急時の飲料水の確保を検討

北條 勳 議員

問

防災に対する町の計画について、昨年3月11日の東日本大震災の教訓を踏まえて町では、今後の防災対策をどのように計画していますか。

災害時には水の確保が一番必要です。芳賀中部上水道企業団の水道山に直接取りに行くのに500リットルのポリタンクと保管する物置を各自治会に配置する考えはあるか伺います。

自治防災組織と協議し  
必要があれば配置

答

町長 水道山に直接取りに行くことは、芳賀町、市貝町、益子町で構成する正副企業長会議で協議の上、必要であれば取りに行くことについて決定したいと思っています。タンクについては、自治防災組織と協議して必要であれば配置しますが、地域内の井戸水を利用する事も検討し、マップ等の整備と併せて行っていきます。

問

東日本大震災の時に、町災害本部に電話や携帯が通じませんでした。各自治会にトランシーバーを配置する考えはあるか伺います。

衛星放送や災害時優先  
携帯電話等を検討

答

町長 トランシーバーの受信範囲は50メートルで余り適しないと思います。連絡手段としては、衛星放送や災害時



芳賀中部上水道企業団 芳志戸配水池

答

町長 現在メール配信は、火災時には実施しています。今後登録をして、災害時にも配信できるように検討していきます。

問

町消防団員の報酬及び出場手当を全国又は県の平均額まで増額する考えはあるか伺います。

県内市町を調査し  
必要があれば増額

答

町長 消防団員の報酬は平成22年度に団員一人当たり1万円を増額した経過がありますので、今後については、県内市町等を調査し、必要があれば増額していきたいと考えています。

問

宇都宮市では登録した消防団員の携帯電話にメールで連絡ができます。町でも消防団員及び自治防災組織が登録すれば連絡できるシステムを検討できないか伺います。

登録をして災害時に  
配信できるよう検討





大根田和子 議員

「赤ちゃんの駅」設置について

町 町全体で子育てを支援します

**問** 乳幼児を持つ子育て中の家族が安心して外出できる環境の整備として、授乳やおむつ換えをする際に、気軽に立ち寄れる施設「赤ちゃんの駅」の設置は、子育て支援として有効な施設整備と考えます。町有施設では、情報館に設置され好評ですが、その他の町有施設などに設置し、支援を行う考えがあるか伺います。

公共施設だけでなく  
商店や企業等にも協力を

**答** 町長 既存の施設については、おむつ換え用のベビーベッドが多目的トイレ等に設置されています。利用しやすくするためには、授乳の際の仕切りや部屋が必要です。また、給水、排水設備も必要となりますので、今後整備を検討していきます。公共施設だけでなく、商店や企業等にも協力をお願いしたいです。

町全体で子育てを支援することに繋がりますので、これらも強力的に進めていきます。

**問** 町民会館などせっかく設備があるのに、使い勝手が悪いという現状を、町長は把握しているのか伺います。

女性の目線でごんごん  
意見を言っていたきたい

**答** 町長 私は残りそういう声は聞いていません。女性の目線でごんごん意見を言っていたら、よりよい社会を作っていると思います。女性参画社会の会議にも出ていますが、話は聞いていません。まちづくり委員会もありますので、意見を出してもらって、改善するところは改善していきたいと思っています。



情報館の授乳室

がん対策について

**問** 日本では、2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっています。予防や早期発見、早期治療により、生存率は高くなります。リスクの低減と健康な生活を営むための、がんに対する予防と検診等での早期発見、罹患者への対応について、町の施策を伺います。

がんセンター検診は  
県内で芳賀町だけが実施

**答** 町長 芳賀町の受診状況は、胃がん、肺がん、大腸がんとも国平均を大きく上回っています。町で実施している検診事業は、地域に出向いて総合検診を年18回、個人が医療機関に出向いて実施するがんセンター検診、子宮がん検診、がん検診推進事業や、国民健康保険加入者を対象とする人間ドック、脳ドックなど各種の検診事業に取り組んでいます。

特に、がんセンター検診は、県内市町で唯一芳賀町だけが実施しているもので、本人が受診項目を選択できる人間ドック的



なもので、費用も二分の一補助しています。がんセンターは、がんに対する専門的な施設で、検診結果による精密検査や治療への移行がスムーズで、早期対応が期待されています。

最も大切なものは、本人の健康に対する意識であり、定期的な検診の意識です。それらががん対策には不可欠と考えます。今後とも、各種検診や予防事業等について、広報やホームページ、芳賀チャンネルを通して効果的にPRし、受診率の向上に努めていきます。

# 上がる介護保険料!高齢者福祉は充実するのか?



## 町 入所待機者数は解消

### 増渕さつき 議員

**問**

老後の安心を社会全体で支える仕組みとして、介護保険が導入されて間もなく12年が経過します。芳賀町でも少子高齢化が進み、平成22年10月の高齢者数3,927人・高齢化率24.5%となっています。

本年4月に改定される65歳以上の第1号被保険者の保険料の推計と県内での当町の位置づけについて伺います。

県内市町平均4,000円台  
芳賀町は中の上位

**答**

町長 平成24年度から26年度までの保険給付費の増加に対応するため現行の年4万7,400円、月額3,950円から年5万4,700円、月額4,561円にする条例の一部改正を提案しています。

保険料引き上げの要因として介護サービス利用の増に加えて国による制度改正があります。しかし、町の準備基金からの取り崩しや県の財政安定基金取り崩しによる交付額等により、上昇抑制を図っています。

2月14日現在の県の集計では、最高が5,080円、最低が4,050円、県内平均が4,41

2円という状況です。

入所待機者解消の取り組みは

**問**

本年4月には、町内に地域密着型の介護老人福祉施設が開所されます。

現在、町で把握している入所待機者数と待機解消に向けた取り組みを伺います。

施設開所により  
待機者は解消

**答**

町長 第5期介護保険事業業計画策定に当たり、昨年5月に調査した数字では、特別養護老人ホーム入所申し込み数は52名あり、その内、町で入所が必要と判断する入所申し込み者は24名で、数字的には解消されるものと思います。

しかし、財政負担と給付のバランスを保つためには、在宅で生きがいを持った元気な高齢者を一人でも多く増やすことが必要と考えます。



特別養護老人ホームはがの杜

保健センターを  
介護予防センターとして整備は

**問**

町の保健センターは町民の健康の維持・増進を図る拠点施設として、様々な健康づくり事業を行っています。

この保健センターを介護予防施設としての機能を併せ持った施設として整備していく予定はないか伺います。

築32年経過  
建て替えは今後の課題

**答**

町長 保健センターは町民の健康づくりの拠点とし



老朽化してきた保健センター

て昭和55年に建設されました。乳幼児検診や健康相談、健康づくりなどの保険事業を毎年効果的に実施しており、年間270回程度の各種事業に約6,000名の利用があります。他に高齢者向けの生きがいサロンも開催されており、介護予防につながる生きた活動も実施しています。

今後、施設の老朽化が進む中、保健センターのあり方や役割を踏まえ、トレーニングセンターのあり方も含め、建て替え等を検討していきます。

# 議会改革検討委員会が始動

町民にわかりやすい、より開かれた町議会を目指して、議会改革の取組みを推進するとともに、議会活動の透明性を確保するため、芳賀町議会改革検討委員会を設置し検討事項を協議し、結果を議員全員協議会において報告・決定します。

## 第1回委員会（3月2日）

・委員長を杉田貞一郎議員、副委員長を増淵さつき議員とし、名称を「芳賀町議会改革検討委員会」としました。規約を制定し、検討事項について協議しました。

## 第2回委員会（3月13日）

・委員会の検討事項について、優先順位により協議していくこと、各議員の本会議での議決賛否状況を議会だよりに掲載し、周知することを検討しました。



第1委員会室にて

## 芳賀地区広域行政事務組合功労者表彰

前芳賀町議会議長の大林幹侑氏が、芳賀地区広域行政事務組合の行政の振興発展に寄与し、功労があったと認められ、芳賀地区広域行政事務組合功労者として去る3月1日に表彰されました。



芳賀地区広域行政事務組合での表彰式



### 消防団のこれから



黒崎真紀夫さん  
(芳志戸)

私は、今年度をもって消防団を退団することになりました。誇りを持って日々活動して参りました。

退団に伴って、新入団員を勧誘しなければなりません。私の部に於いては、3名の新入団員を探さなければなりません。これにかなり苦労したのが現状です。幸い私の部は、新入団員3名が決まりましたが、他部では入団者が見つからないという話も聞きます。

いろいろな要因があると思います。昔

に比べて若い人が少ないと言うこともあると思います。また、大変だ、忙しいなどの意見や、勤める会社での理解度が少ないなどの話も聞きます。

東日本大震災から約1年が経った今、町、自治会などと連携を取っていかねれば、消防団存続の危機になりかねません。そんな中、一生懸命に活動している若き団員がいるのも確かです。

私は退団しても、OBとして協力を惜しまない考えています。

### 一事が万事

東日本大震災から1年が過ぎましたが、震災当時、町職員の方々の安否確認や地元議員の励ましの言葉に元気を頂き、感謝している一人です。しかしながら、疲労困憊の町職員の活動が報われなかった事がありましたのでひと言。

当地区の西側台地には、山道(公道)に挟まれた墓地集団があります。地震により谷側山道は十数mに渡り崩落、山側は30m以上の地割れ発生。前述の安否確認時に現状を伝え、余震や大雨等による危険性も考えら

れるので、調査・対応の依頼を致しました。地区内の生活に直結する内容ではないので、優先度の低いのは当然でしたが、2か月経過しても、関係部局から音沙汰なし。他地区の災害に比べ些細な内容ですが、崩落、亀裂進展の可能性、今後の対応指針を得たかったのです。緊急事態の最中といえども、2か月も経てば庁内の情報整理も可能と考えます。末端には町民一人ひとりが見据え、情報の交通整理も表裏一体で進めることを要望致します。



飯塚表男さん  
(西高橋)

### LRTによる町づくり



水沼 正さん  
(下延生)

芳賀町の住民サービスは先進的だと思いますが、公共交通の脆弱さは、目を覆うばかりです。

そこで、宇都宮で議論されているLRT事業を芳賀町で先行発展させるべきだと思います。宇都宮市でLRTが議論されてから間もなく10年となり、この間にLRTのハイブリッド車両や蓄電池の改良改善が飛躍的に進み、既存の架線や送電設備が無くても自走出来る低コストの新型LRT技術は既に国内各メーカーで完成しています。宇都宮で

のLRT賛否の議論を傍観しているよりも町でLRT実験線の誘致に乗り出し、LRTによる町づくりを全国に先駆けて実行する時だと思います。芳賀町がLRT実現の引き金をひく事で、宇都宮LRTが早期実現するきっかけになります。当然芳賀町から宇都宮駅東へのLRT路線が先行実施になります。

それが実現すれば、芳賀町がLRT技術開発研究拠点、県東部の重要ハブ拠点になり、雇用の創出や、観光や税収に大きく貢献できる事業になると思います。

# 議会日誌

平成24年

1月

- 8日・芳賀町成人式
- 10日・芳賀町賀詞交歓会  
・議員全員協議会
- 12日・芳賀北部4町広域推進協議会研修会（～13日）（那珂川町）
- 17日・広域ごみ処理施設建設工事起工式（真岡市）
- 18日・芳工連賀詞交歓会
- 30日・議会運営委員会・広報常任委員会合同研修会（～31日）（神奈川県）

2月

- 2日・広報常任委員会
- 9日・芳賀町農業再生協議会総会
- 21日・県議長会定期総会（宇都宮市）  
・宮城県丸森町議会行政視察  
・農業委員との意見交換会  
・議員全員協議会
- 23日・芳賀町シルバー人材センター20周年記念式典  
・議会運営委員会  
・議員全員協議会
- 24日・芳賀中部環境衛生事務組合議会定例会（益子町）  
・芳賀中部上水道企業団議会定例会

3月

- 1日・芳賀広域行政事務組合定例会（真岡市）
- 2日・第1回芳賀町議会定例会（～13日）  
・議会改革検討委員会
- 6日・広報常任委員会
- 9日・芳賀中学校卒業式
- 10日・国道123号水橋バイパス開通式
- 13日・議会運営委員会  
・議会改革検討委員会
- 19日・町内各小学校卒業式



## 議会だよりの表紙写真を募集！

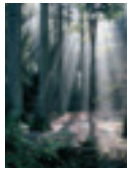
芳賀町の「議会だより」は、年4回と随時に臨時号を発行し、町内各戸や関係機関へ配布しております。

皆さまに、議会がより親しまれる身近なものとなるよう「議会だより」の表紙を飾る写真を募集いたします。

テーマ「元気な芳賀町」（人物・風景等は問いません。）

応募上の注意

- ・応募者は町民に限ります。
- ・プリント（L版以上）またはデジタルデータ
- ・編集の都合上、作品のトリミングを行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・撮影者自身に著作権のある未発表、未公開の作品
- ・被写体が人物の場合は、必ず本人の承諾を得て応募してください。
- ・応募の際は、住所、氏名、電話番号のほか、撮影場所、作品のタイトルを明記してください。



審査方法

芳賀町議会広報常任委員会にて審査します。

応募締め切り 平成24年7月20日（金）

応募先 芳賀町議会事務局

その他

採用者には粗品を進呈します。

次号は8月発行予定です。



芳賀チャンネルも見てね!!

〈次回の定例会開催予定日は6月5日（火）です〉

### みんなで議会を傍聴しましょう

※議会定例会の様様をその日の20:00～と再放送を翌日8:00～に放映

## 編集室

例年ですと、卒業式には梅の花が、入学式には桜の花が咲きますが、今年は梅の花と桜の花が同時に咲いています。

東日本大震災の影響で、原子力発電所の復旧は一年経過しても目途が立てられない。

放射性セシウムの影響は、町の農産物にも多大な被害が出ています。

なお、電気料金、節電、がれきの処理等、問題は山積みしています。

町の特徴を聞かれ、今までは「観光なし」「災害なし」「特産の芳賀のなし」とジョークを交えて言っていました。今回の災害によりジョークは言えませんが。

町では、一刻も早く災害マップを作成して、行政と自治防災による協働の役割分担が必要です。

住民の皆様方も考えてください。行政や自治防災組織だけでは限界があります。最後は自己責任です。

（議会広報常任委員会

副委員長 北條 勲記）